



エコでピースな、みどりの未来へ

～新しい選択肢、「みどりの政治」を一緒に作りませんか？



News Letter MIDORI STYLE
11月21日 発行 No.00

「オゾン層にあいた穴をどうやってふさぐのか、あなたは知らないでしょう。死んだ川にどうやってサケを呼び戻すのか、あなたは知らないでしょう。絶滅した動物をどうやって生きかえらせるのか、あなたは知らないでしょう。そして、今や砂漠となつてしまった場所にどうやって森をよみがえらせるのか、あなたは知らないでしょう。どうやって直すのか分からないものを壊し続けるのはもうやめて下さい。」

※あなたが世界を変える日 (モヴァン・カリス・スズキ 著 ナンメノ 倶楽部 / 編・訳 学陽書房より)

1992年。リオで開かれた国連の地球環境サミットで、当時12才の少女が、世界各国のリーダーの前でスピーチをしました。

2008年。世界はいま、1929年の世界大恐慌以来の金融危機に直面しています。原油や食料が投機の対象となり、私たちの生活を支えるはずの営みが、マネーゲームに左右される世界。先行きの不安が増す中、年金・医療・介護のセーフティネットはほころび、不安定雇用に苦しむ若者がまぢにあふれています。食の安全は崩壊し、環境問題を叫びながらも大量に作り、使い、捨てる経済……。さらなる利潤を求めて暴走する投機マネーは、社会の安全・安心も、地球環境も、破壊し続けています。

無限の経済成長を前提とする経済社会システムが行きつく先に、本当に豊かな社会はあるのでしょうか。

私たちは、地球環境と共存できる、持続可能で、身の丈にあった営みを望みます。富を握りの人が独占することのない公正な社会。資源を戦争で奪い合うのではなく、分かち合う世界を望みます。そして、多様な価値観が認められ、草の根の市民活動が支える社会を望みます。

リオの少女は、こうも言いました。「もし戦争のために使われているお金を全部、貧しさと環境問題を解決するために使えば、この地球はすばらしい星になるでしょう。私はまだ子どもですけど、そのことを知っています」

私たちは、この少女の言葉を「子どもの

言い分だと、笑い飛ばすことはできません。社会は、私たちの選択によって変えることができるからです。右か左かではなく前へ！ すでに同じ想いをもつ人々による、さまざまな市民活動は、草の根で確実に広がっています。私たちは、そういった人々と力をあわせ、自分たちが目指す社会の実現に向けてのロードマップを、具体的な政策に高めて、提案していきまします。そして、それらを実現するためのキャンペーン、選挙、議会活動に積極的に取り組みます。

そのための受け皿として、日本に「みどりの党」をつくりたいと活動してきた「みどりのテーブル」と、みどりの理念を基盤として、無所属市民派の自治体議員を中心に活動してきた「虹と緑の500人リスト」が組織合流し、全国ネットワークとして新たな一歩を踏み出します。NGO・NPO、市民と自治体議員が、それぞれを持ち味と力を合わせ、高めあう、新しい政治スタイルへのチャレンジです。

地域、現場からこそ、公正で持続可能な社会に向けての新しい風を！

自分たちが望む選択肢は、自分たちでつくる。未来は私たちの手の中にあります。ぜひ一緒に取り組みませんか。私たちの未来のために、子どもたちの未来のために。

稲村 和美 (みどりのテーブル代表・兵庫県議)

道路特定財源をめぐって議論が交わされてきた。確かに、日本の公共事業は問題だ。ムダな事業、環境を破壊する事業で溢れている。だが、地方経済が公共事業を必要としていることも現実だ。

残念ながら、地域の経済や雇用は公共事業に大きく依存している。それならば、緑の公共事業しかないだろう。農林水産業を再生させるための公共事業だ。電線を地中化し景観を改善する公共事業だ。バリアフリーや福祉の向上のための公共事業だ。河川の近自然工法やビオトープ、森林再生の環境保全・回復型公共事業だ。自然エネルギーを普及させる公共事業だ。

地域の経済を支え、将来の産業を育てながら、同時に環境や生活の質を高める公共事業が、何故に日本で導入されてこなかったのだろうか？ それは、経済成長を重視し、生活や環境に配慮してこなかった既成政党の限界である。

生活や環境から出発して経済を考える緑だからこそ、そのような緑の公共事業の政策が紡ぎ出せる。景気回復が錦の御旗である現在の政治は、生活の質や環境にも同時に配慮できるのだろうか？ やはり、緑の政策思考をもった新しい政党が必要だ。

緑の政策思考をもった新しい政党が必要だ

畑山 敏夫 (佐賀大学)

Information

生まれた曜日で占う
ECO占い 2008年11・12月

生まれた曜日が分からない人は
誕生日 曜日 で 検索 by Namiho

- 月** なにかとイライラしてしまう時期。ムカつきでも深呼吸。自分が本当にありたい気持ちをイメージしてみてください。白い動物を見ると癒されます。
- 火** 苦手だった人から思わぬ情報が飛び込みます。積極的に話を聞くよう心がけましょう。焚き火やいろりの炎を見るとひらめき力アップ。
- 水** 外気の乾燥とともに心も乾燥モード。自暴自棄にならずじっくり待つ心構えが吉。心の潤いを得るには紅葉狩りや森林浴も効果的。
- 木** 年末にかけて疲れがピーク。他の人でもできそうなことは手伝ってもらえるように「お願い力」を強化。ラッキーアイテムは木の文房具。
- 金** やや低調だった運勢が年末にかけて良好に。ていねいな言葉づかいを心がけて。小さな悩みも早めに解決して吉。土曜生まれの人に相談してみてください。
- 土** 大きな変化の兆しがありますが、あまりの楽々思考は禁物。周りの意見も聞いて慎重に。ラディッシュや水菜など、冬の野菜を育てて吉。
- 日** やや低調な時期。温かい飲み物を片手にひなたぼっこや散歩をしたり、ゆったり時間を楽しんで。年明けは近場に初日出を見にいくと吉。

ECOLシビ

まるごと野菜の醤油焼き

エコレシビ初回は超簡単料理をご紹介します。厚さ1センチ強に輪切りにした根菜(大根、人参、蓮根、イモなど)と、そのままの形が半分切ったナスやピーマンやエリンギなどをフライパンにのせ、根菜ヒタヒタの水に醤油をちょちょっと垂らして強火で煮詰め、焦げる前に火を止めたら胡椒パッパ、お洒落な皿盛で、ハイ、出来上がり！有機無農薬の野菜で皮を剥かず、伝統製法の醤油を使うのがミソ。一物全体で栄養満点、冬に美味くホカホカの、ゴミゼロ料理なのです！さて、ここで自己紹介を・・・東京池袋の隅っこに小さなOrganic Bar「たまにはTSUKIでも眺めましょ。それが私の商いです。よろしく、どうぞ(^v^)」高坂 勝

<http://ameblo.jp/smile-moonset/>

Schedule

スケジュール

11月22日の合流総会をへて、いよいよ新しい団体として活動を始めます。

まず、2009年2月には国一地方政策研究会を国会議員会館を舞台に行う予定。ピックアップしたテーマに関して、国の官僚の説明を受け、質疑を行います。最後には参加者の意見を取りまとめて政府や議員事務所に提言を行います。2月も含め、年4回程度の開催を予定しています。

次に、4月あるいは5月には地球温暖化などのテーマでNGO・NPOと連携して大規模な政策提言会を東京で開催します。

Information

選挙情報 会員の選挙情報をお伝えします

小林 美智子

連絡先
小林美智子事務所
〒567-0828 茨木市舟木町13-11
TEL/FAX 072-638-9228

選挙日程
2009年1月18日告示、25日投票開票
期数 2期目にチャレンジです

選挙情勢、重点政策など一言
定数32名に対し、38人程度が立候補を予定している模様。1期目は子ども政策を中心に活動をしてきました。2期目に向けてもメインテーマは子ども政策です。子ども政策を総合的に捉えなおすよう取り組んでいきます。あわせて、住民自治や議会改革にも取り組みます。持続可能な社会を模索し、市民一人ひとりとなつながら、さらにパワーアップしていきます！

三浦 まさゆき

連絡先
〒847-0814 佐賀県唐津市
弓鷹町1510-22金田ビル

選挙日程
2009年1月18日告示、25日投票開票
期数 3期目への挑戦

選挙情勢、重点政策など一言
合併特例の46議席が任期満了、法定定数の34議席を新人を含め50名程度で争う激戦となりそう。合併特例債を利用した新庁舎建設や退職手当債の借り入れの見直しなど将来に負担を残す借金体質の改善を訴える。また、危険で無駄なプルサーマル計画の中止、住民投票の実施に取り組む。

Person

みどりの人々

松本 なみほ (兵庫県)

1974年生まれ。神戸市のニュータウンに住まいつつも、農村出身の両親の影響で常にハタケが身近にある暮らしを送る。持続可能な世界を目指し、エコライフコンサルタント、神戸市議会出馬(次点落選)を経て、現在は神戸市会派の政務調査スタッフ。半農半XのXを模索しながら2歳の息子と環境共育(かんきょうきょういく)ざんまいの日々。ちなみに、なみほの後の「」は、友人とくちゃん「なみちゃんあと一画増えたら運勢上がるねんて」と言ったのを真に受けて、今年から増やしてみようという試みを実験している。結果は上々。(笑)

富田 英司 (静岡県)

「5本の指」
1949年生まれの団塊の世代。1967年大学に、それから学生運動・1970年安保・労働運動・新左翼運動と続けてきたが、運動と組織は失敗と分裂の歴史。今回、松谷氏から市議選立候補を要請されたが、人にはそれぞれの「役割」「持ち場」があると。沖縄のかけ橋をめざす私には、故阿波根昌鴻さんの「5本の指」の話が教訓。5本の指にはそれぞれの役割があり、それらの指が協力して手となり活動できると。今回の新団体組織も、「5本の指」が集まるように。

〈編集後記〉
みどりの会議が敗れて早4年。早くみどりの政党を立ち上げたいという欲求は募るばかりだ。何事も右肩下りの情勢の中、みどりへの期待と要求、需要と必要だけは右肩上がりである。最早一刻の猶予もない。みどりの意志を携えた一人ひとりが立ち上がり、新たな社会を創造するのだ！その思いでゼロ号を発刊した。今回は紙面が足りず苦労したが、次号からはグレードアップしてお送りする予定。乞うご期待！

合流委員会事務局(稲村和美事務所) 〒661-0014 兵庫県尼崎市上ノ島町2丁目15-2 TEL 06-6423-1991 FAX 06-6423-1977
みどりのテーブル事務局 〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2丁目3-4 高円寺ビル404 TEL/FAX 03-3338-8587
虹と緑の500人リスト事務局 〒700-0971 岡山県岡山市野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724
e-mail info.greens@greens.gr.jp url http://www.greens.gr.jp

